



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 8日 日曜日	試合コード	#71
開催地 (都道府県名)	熊本県	会場名	熊本県立総合体育館

結果	A	スコア		B
	スロベニア	19	前半	32
9 — 18				
後半				
10 — 14				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7mc	—			
—	—			
—	—			
SLO			BRA	

戦況	見出し	堅いDFと攻撃力でブラジルが圧勝
	前半	SLOのスローオフで開始。開始から5分でBRAが速攻を中心に5連取し、5-0とする。SLOはタイムアウトを取って、立て直しを図る。SLOは、N○10のロングシュートで2点を返すが、BLAもすぐに得点する。その後、両チーム、GKのナイスセーブやミスがあり、得点できない時間帯が続く。14分BRAはN○49のシュートが決まり、ジワジワと引き離しにかかり、20分に7点差とする。21分SLOはGKをN○12からN○1へ交替させる。しかし、BRAはサイドからの追加点を奪い主導権は渡さない。SLOはたまたま2回目のタイムアウトをとって戦術の再確認を行う。しかし、SLOはBRAの堅いDFをなかなか攻略できない。SLOはN○10のロングシュートで2連取するも、BRAのN○21のサイドシュートが冴えわたり点差はさらに広がっていった。前半は18-9のWスコアで終了。BRAの一方的な試合展開となった。
後半	後半もBRAの勢いは止まらず5連取し、さらに点差を広げこの試合最大となる14点差となる。しかし、7分過ぎについてSLO長身、キャプテンN○6のこの試合初得点となるロングシュートが決まる。そこからSLOは反撃を開始する。N○6がロングシュートを次々に決め、16分8点差まで追い上げる。悪い流れを断ち切りたいBRAはタイムアウトをとって落ち着きを取り戻す。BRAはそこからGKN○12のナイスーブもあり、SLOの追加点を許さない。BRAは16分から5連続得点し勢いを増していく。SLOは何とか打開すべく、BRAを果敢に攻めるもBRAの堅いDFをなかなか攻略できない。SLOはN○19のサイドシュートやN○11のロングシュートを決めるが、流れを変えるまでには至らず、19-32のBRAの圧勝で試合を終わった。	



戦況作成者	岩永 孝博
-------	-------